

矢作川流域圏懇談会通信

R6 流域連携 vol. 5



発行日：令和6年12月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第61回多摩川流域セミナーに参加しました！

第61回多摩川流域セミナー『矢作川がわかれば多摩川が見えてくる 多摩川がわかれば矢作川が見えてくる』に参加しました。多摩川流域懇談会と矢作川流域圏懇談会の連携企画として開催しました。他流域と比較することで見えてくる新しい流域の姿や両懇談会組織の違いを意見交換しました。

午前中には多摩川河口部のアシ原・干潟等を現地散策しました。

午後のセミナーは、矢作川流域圏懇談会から、山部会座長の蔵治氏、洲崎氏、松沢氏、蔭山事業対策官より話題提供をしていただきました。



日時：令和6年11月30日（土） 10:00～17:00

場所【午前の部】：干潟館周辺の河原（多摩川）

場所【午後の部】：大師河原干潟館

◆概要とプログラム内容について

1. 概要とプログラム内容



■概要

東京を流れる多摩川と、愛知を流れる矢作川。長さや流域の広さはよく似ている二つの川ですが、比べると違うところもたくさんあります。二つの川の違うところやいいところを一緒に見つけて、川のステキな未来について考えます。

■プログラム内容

時間	プログラム
10:00～12:00	現地散策「～多摩川の河口部の自然観察～」
13:00～13:10	開会・開会挨拶 多摩川流域懇談会運営委員長 神谷博氏 ・多摩川流域懇談会について ・多摩川流域懇談会と矢作川流域圏懇談会の連携経緯
13:10～13:35	多摩川流域に関する話題提供 東京都市大学客員教授・名誉教授 小堀洋美氏 「多摩川の姿と課題ー過去30年のフィールド調査からの学びー」
13:35～14:00	矢作川流域に関する話題提供 東京大学大学院教授・山部会座長 蔵治光一郎氏 「流域の視点からみた治水と総合水管理」
14:00～14:25	多摩川からの活動・取組報告① みずとみどり研究会・事務局長 佐山公一氏 「多摩川の市民団体とTBネット」
14:25～14:35	多摩川からの活動・取組報告② 国土交通省京浜河川事務所事業対策官 大野智弘氏 「多摩川流域懇談会発足の経緯と取組」
14:35～15:00	矢作川からの活動・取組報告① 豊田市矢作川研究所主任研究員 洲崎燈子氏 「矢作川流域圏懇談会14年のあゆみ」
15:00～15:10	矢作川からの活動・取組報告② 豊橋河川事務所事業対策官 蔭山敦士氏 「矢作川流域圏懇談会発足の経緯」
15:10～15:25	休憩
15:25～16:55	話題提供 矢作川流域圏懇談会 松沢氏 「矢作川と多摩川の空中写真比較」 意見交換 コーディネーター：川口氏（愛知・川の会）、山田氏（多摩川流域懇談会事務局）
16:55～17:00	閉会挨拶（京浜河川事務所 所長）



2. 午前の部：現地散策

■現地視察

午前中は多摩川の大師河原干潟館周辺の河原、大師橋、高規格堤防の上を散策しながら、アシ原等の周辺植生、冬鳥の観察をしました。当日は干潟も確認することができ、流木の下にはクロベンケイガニ二等が冬眠していました。

また、羽田レンガ堤防を見学し、羽田地区における水害の歴史を学ぶことができました。



現地視察の様子



干潟に生息する生物の確認



当日は富士山が見えるほど快晴でした

3. 午後の部：セミナー



■セミナー

午後は矢作川流域と多摩川流域の比較から、互いの流域の違うところや良いところについて意見交換しました。矢作川流域圏懇談会からは蔵治山部会座長、洲崎氏、松沢氏、蔭山事業対策官が発表しました。

河川特性、高水敷利用、ダム、土地利用、地盤の違い等様々な比較を行いました。

また、矢作川流域圏懇談会と多摩川流域懇談会の違いについても議論しました。多摩川流域懇談会は緩やかな合意形成、矢作川流域圏懇談会はエビデンスに基づくデータから議論し、やれることからやるというスタンスの違いが表れました。今後継続して交流をしていくことを話しました。



蔵治山部会座長の発表の様子



洲崎氏の発表の様子



松沢氏の発表の様子



意見交換の様子



セミナーの様子



矢作川流域と多摩川流域の地図

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、係長 小池、技官 中野

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

